

【別紙 1】

重要研究開発プログラムで対象とする技術の詳細及び目標とする成果達成時期

【対象とする技術の一覧】

重点研究開発目標技術	公募する研究課題のテーマ
I C T等の先端技術を活用した 消防活動技術	消防職員の技能、経験をA I等の先端技術に活かすこ とにより火災現場活動の高度化を図る研究

※各テーマについて示す目標時期までに、所要の成果達成が見込める研究開発課題を募集し
ます。詳細については次ページ以降を参照ください。

【別紙 1】

(分野名) 消防分野	
(テーマ名) 消防職員の技能、経験を A I 等の先端技術に活かすことにより火災現場活動の高度化を図る研究	
背景等	<p>近年、消火災件数の減少や熟練者の大量退職に伴い、消防職員の実火災における活動経験が減少してきている。これにより、火災現場において多様に変化する火災性状等の知識やそれに対応する活動の技能など、これまでの訓練だけでは必要な知識・技能を次世代の消防職員へ引き継ぐことが難しくなっている。</p> <p>これらの経験により得られる知識や技能は、迅速かつ効果的な活動のみならず、隊員自身の安全にも関わることから重要な課題である。</p> <p>また、活動を行う際、消防ポンプの操作を行う「機関員」には、火災状況の変化に応じた高い操作技能が求められるが、同様の課題がある。</p> <p>このような現状を踏まえ、伝承されるべき技能や知識を効果的に得られるよう、A I 等の先端技術を活用して過去の実火災データや知見を基にして訓練時の状況付与を支援するシステムや、「機関員」が行う消防ポンプ等の運用技術の自動制御システムなど消火活動の向上につながる研究を行うものである。</p>
必要とする成果内容と目標とする成果達成時期	【平成 30 年度末】 ○ 解決策の妥当性についての調査分析と実現するためのデータの取得
	【平成 31 年度末】 ○ 機器またはシステムを開発するために必要なデータの調査・解析
	【平成 32 年度末】 ○ システムプログラム等の作成・検証
成果活用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域特性や消防本部規模に応じた機器またはプログラムへの展開・開発 ・ 新たな消火戦術への展開

【ロードマップ】

	～H30	～H31	～H32	H33～
消防庁の施策動向	先端技術の活用による効果的な消防活動の推進			
			地域特性や消防本部規模に応じた機器またはプログラムへの展開・開発	新たな消火戦術への展開
テーマ設定型研究開発 (重要研究開発プログラム)	解決策の妥当性についての調査分析と実現するためのデータの取得	機器またはシステムを開発するために必要なデータの調査・解析	試作機器やシステムプログラム等の作成・検証	

※ロードマップは平成30年度消防防災科学技術研究推進制度の公募にあたり、申請者の参考となるよう示すものです。社会ニーズや行政課題の変化に応じて変更する可能性があるものであり、今後の予定を保障するものではありません。